

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第50週の発生動向

□ トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

第50週の県内定点当たり報告数が16.5となり、今シーズン初めて流行注意報レベル基準値(10)を超えた。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (50 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：E 型肝炎 1 例、つつが虫病 8 例、レプトスピラ症 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 4 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0～4歳	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
			0～4歳	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
	E型肝炎	日南	70歳代	男	—	肝機能異常
4類	つつが虫病	宮崎市	50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発疹
			80歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		都城	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		日南	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
		小林	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	女	—	刺し口、倦怠感
	レプトスピラ症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、腎不全
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹
			10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
		都城	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	百日咳	日向	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,656人(定点当たり36.5)で、前週比127%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は958人(16.5)で、前週比221%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.6)の2.5倍であった。延岡(23.7)、中央(23.5)、宮崎市(21.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

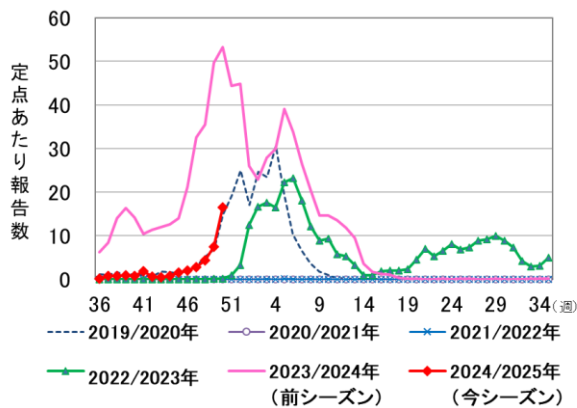
報告数は108人(1.9)で、前週比119%と増加した。延岡(5.0)、中央(2.5)、日向(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

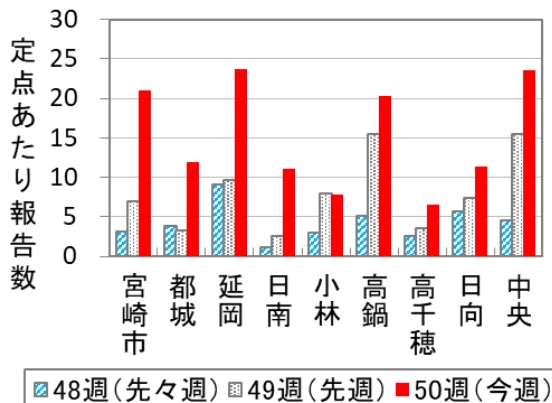
報告数は297人(8.3)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(14.6)の約0.6倍であった。中央(20.0)、宮崎市(13.9)、小林(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

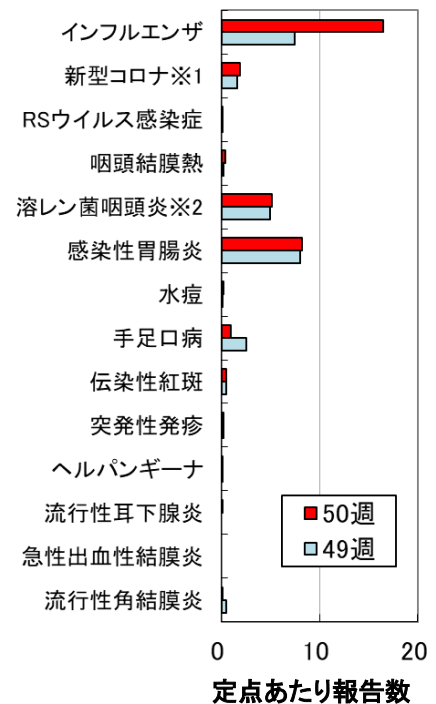
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



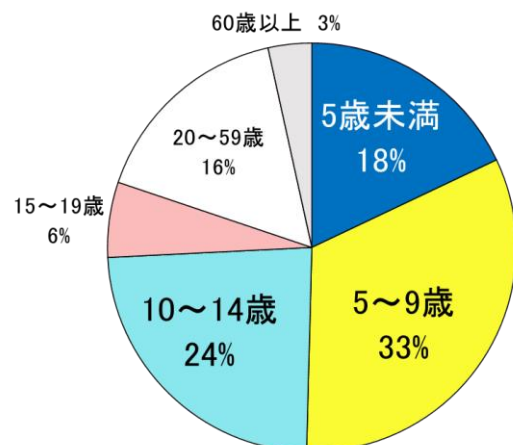
《前週との比較》



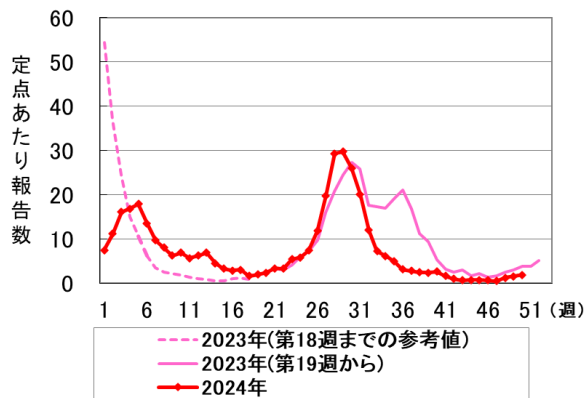
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ年齢群別グラフ(第50週)

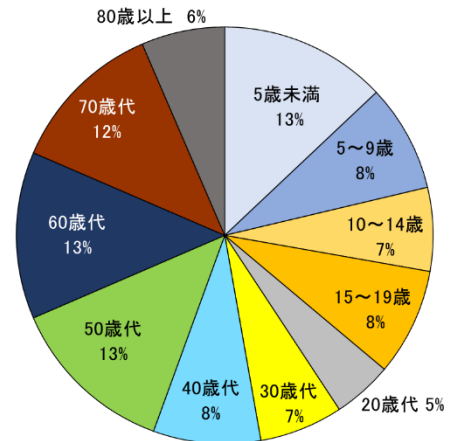


新型コロナウイルス感染症 発生状況

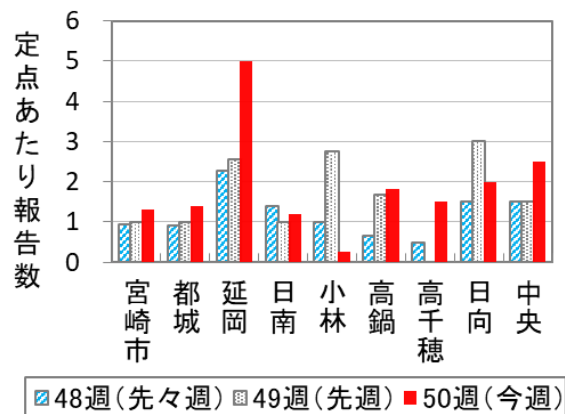


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週
～第 18 週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

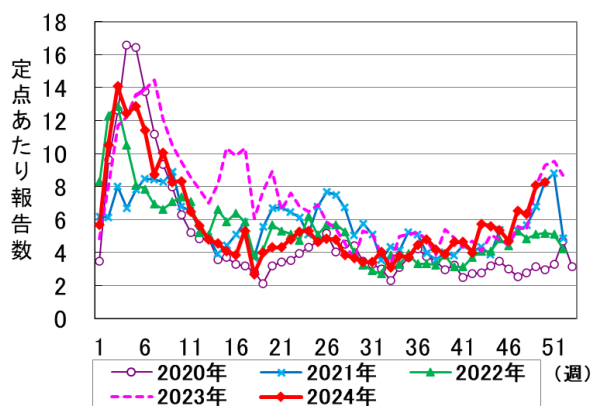
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第 50 週)



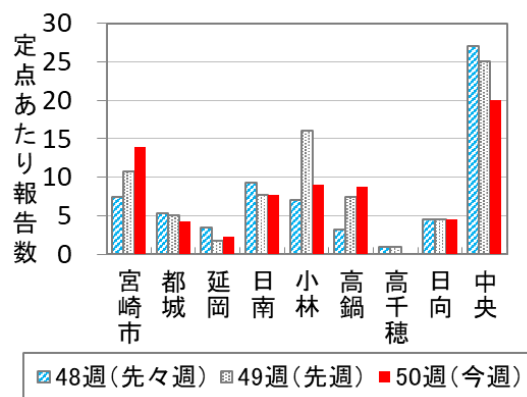
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 14 例(定点当たり 2.0)で、前週比約 0.7 倍と減少した。日向(6 例)、延岡(3 例)、高鍋(3 例)、宮崎市(2 例)保健所から報告があった。年齢は 10～14 歳が 8 例、5～9 歳が 4 例、0～4 歳が 2 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(21.1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
都城	インフルエンザ(11.9)
延岡	インフルエンザ(23.7)、伝染性紅斑(2.8)
日南	インフルエンザ(11.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(20.3)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(11.3)
中央	インフルエンザ(23.5)、感染性胃腸炎(20.0)

※流行警報レベル開始基準値※
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・感染性胃腸炎(20)
 ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※
 ・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2024 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	241 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	39 例	
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	エキノコックス症
	つつが虫病	35 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱
	レジオネラ症	30 例	レプトスピラ症	1 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例	水痘(入院例)
	梅毒	193 例	播種性クリプトコックス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
	百日咳	135 例	麻しん	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 122%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 44,673 人(9.0)で前週比 186%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.2)の約 2.2 倍であった。福岡県(20.3)、大分県(13.4)、千葉県(13.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 15,163 人(3.1)で前週比 127%と増加した。秋田県(9.3)、北海道(9.3)、岩手県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 1,097 人(2.3)で前週比 101%とほぼ横ばいであった。福井県(6.2)、青森県(4.2)、茨城県(3.8)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 2.7 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2024 年 11 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比78%と減少した。また、昨年11月(4.0)の約0.8倍であった。

《疾患別》

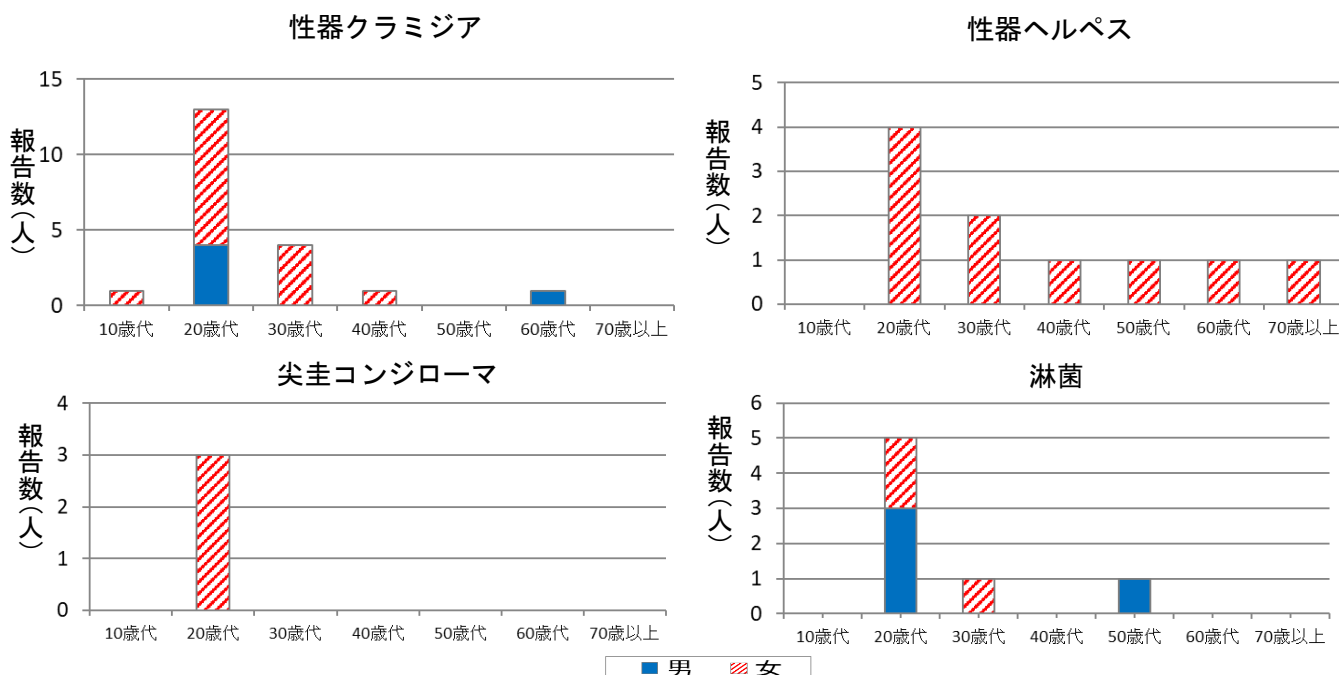
○性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約0.7倍、昨年11月の約0.6倍であった。

20歳代が全体の約7割を占めた。(男性5人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.1倍、昨年11月の約1.7倍であった。(女性10人)

○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の0.5倍、昨年11月の3倍であった。(女性3人)

○淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.8倍、昨年11月の約0.6倍であった。(男性4人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,230人(4.3)で、前月比87%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,340人(2.4)で前月比87%、性器ヘルペスウイルス感染症748人(0.76)で前月比84%、尖圭コンジローマ502人(0.51)で前月比88%、淋菌感染症640人(0.65)で前月比87%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年11月(2.6)の約0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月と同率、昨年11月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,301人(2.7)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,213人(2.5)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症83人(0.17)で前月比121%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比100%であった。

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	433	958	337	119	166	55	31	122	13	68	47
	定点当り	7.47	16.52	21.06	11.90	23.71	11.00	7.75	20.33	6.50	11.33	23.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	91	108	21	14	35	6	1	11	3	12	5
	定点当り	1.57	1.86	1.31	1.40	5.00	1.20	0.25	1.83	1.50	2.00	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	1	6	2					4			
	定点当り	0.03	0.17	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	15	11				1			3	
	定点当り	0.19	0.42	1.10	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	178	186	90	12	29	30		10		8	7
	定点当り	4.94	5.17	9.00	2.00	7.25	10.00	0.00	2.50	0.00	2.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	290	297	139	26	9	23	27	35		18	20
	定点当り	8.06	8.25	13.90	4.33	2.25	7.67	9.00	8.75	0.00	4.50	20.00
水 痘	報告数	2	7		3	2		1	1			
	定点当り	0.06	0.19	0.00	0.50	0.50	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	91	34	12	8	4		9			1	
	定点当り	2.53	0.94	1.20	1.33	1.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	18	17	5		11						1
	定点当り	0.50	0.47	0.50	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	8	9	2	1	1	1		3		1	
	定点当り	0.22	0.25	0.20	0.17	0.25	0.33	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2	1			1					
	定点当り	0.08	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2	1			1					
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.50	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	19	14	2		3			3		6	
	定点当り	2.71	2.00	2.00	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00		6.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点: 58、小児科定点: 36 (インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7
* 第49週の報告数に一部修正があります。

● 全数把握対象疾患累積報告数 (2024年 第1週 ～50週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	106例(1)		
	腸管出血性大腸菌感染症	44例(2)		
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	A型肝炎	1例
	つつが虫病	27例(8)	日本紅斑熱	16例
	レプトスピラ症	1例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘 (入院例)	5例	梅 毒	157例(4)
	破傷風	2例	百日咳	54例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20例
			侵襲性肺炎球菌感染症	16例
			播種性クリプトコックス症	6例

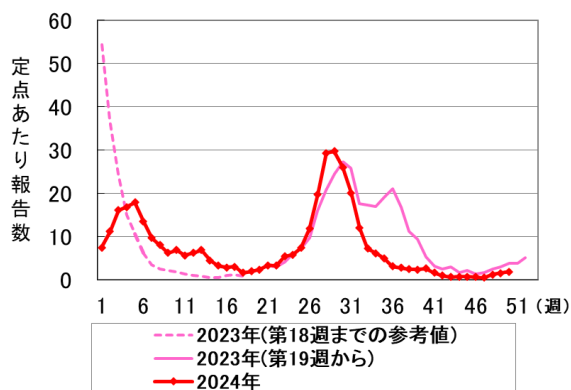
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 50 週、全国第 49 週（再掲）》

□ 県内第 50 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

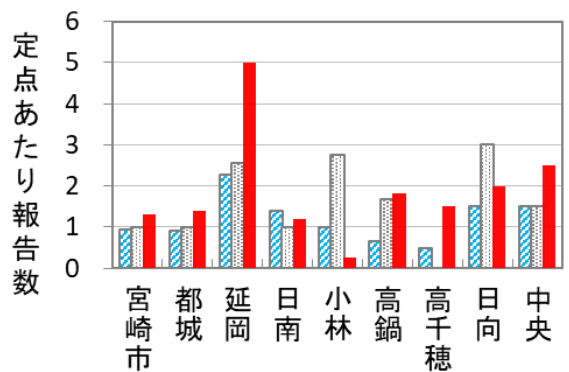
12 月 9 日～12 月 15 日までの 1 週間で 108 人(1.9)の報告があり、前週比 119%と増加した。延岡(5.0)、中央(2.5)、日向(2.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

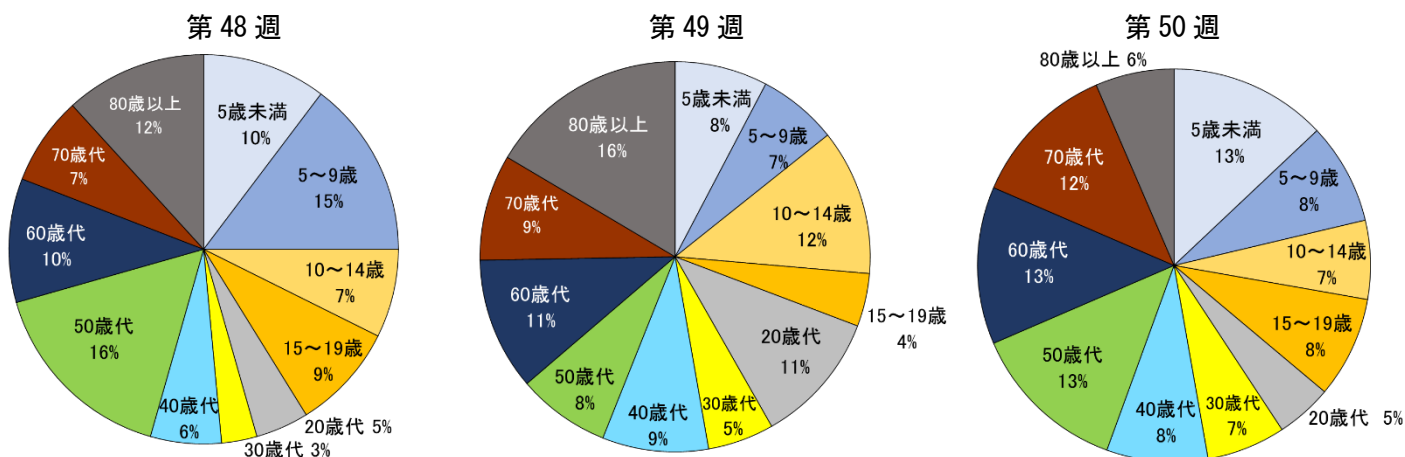


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

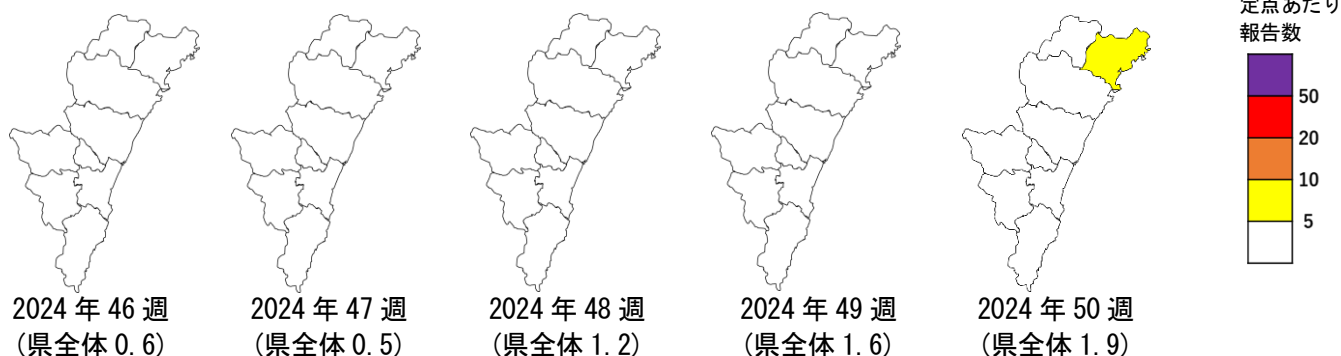
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 46 週～2024 年第 50 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 49 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

12 月 2 日～12 月 8 日までの 1 週間で 15,163 人(3.1)の報告があり、前週比 127%と増加した。秋田県(9.3)、北海道(9.3)、岩手県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。